

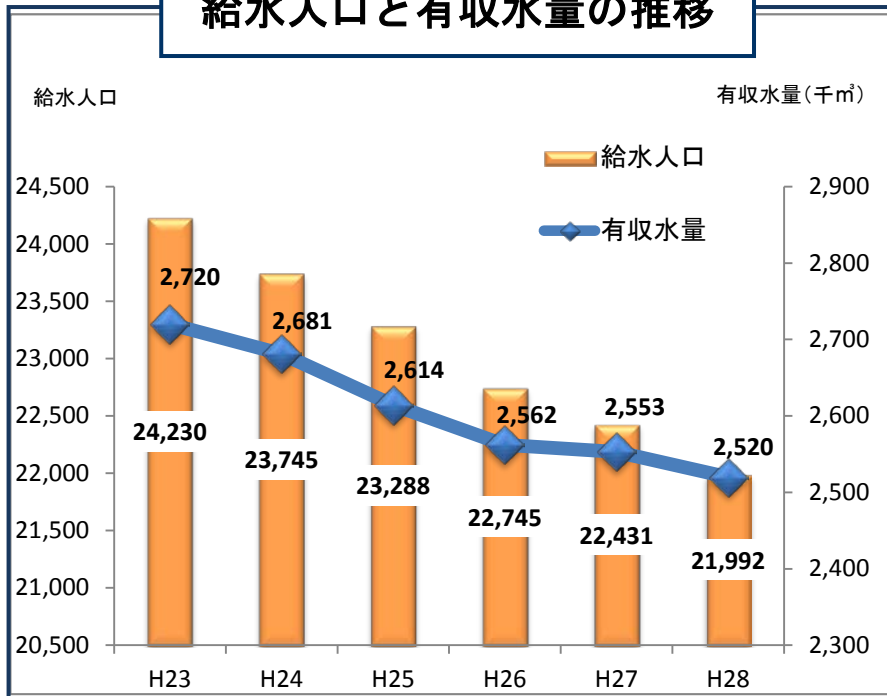
## 平成28年度 水道事業会計予算概要

収益的収入は、前年度比2千3百万円減の6億円を見込んでおります。これは給水収益が人口減少に伴い1千1百万円の減少、また営業外収益の消費税還付金が1千3百万円の皆減などによるものです。

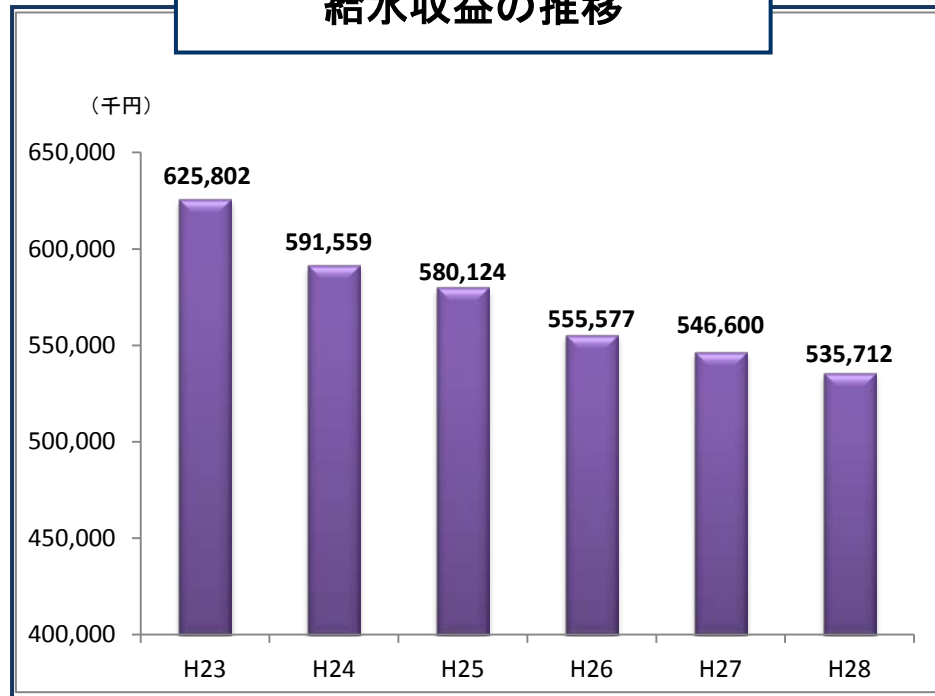
収益的支出につきましては、前年度比1千4百万円増の5億7千4百万円を見込んでおります。これは営業費が1千8百万円の減少、給料削減の終了に伴い職員給与費が1千4百万円の増加、営業外費用の消費税納付金が1千6百万円の皆増などによるものです。よって税抜の収益的収支は1千1百万円の純利益になる見込みです。

資本的収支につきましては、収入・支出ともに2千2百万円の増加になっております。今後も老朽化した水道施設の維持・更新事業が増えていくため資本的収支は増加していく見込みです。

### 給水人口と有収水量の推移



### 給水収益の推移



## 収益的収支の状況

### ☆ 収益的収入 ☆

(単位：千円・%)

項目	内容	平成27年度 予算	平成28年度 予算	前年度比	構成比	比較増減比
給水収益	水道料金	546,600	535,712	98.0	89.3	△ 10,888
他会計繰入金	一般会計からの補助金、負担金	18,912	19,354	102.3	3.2	442
長期前受金戻入	負債として計上された補助金等を収益化したもの	22,400	23,700	105.8	4.0	1,300
その他収益	受託工事手数料、配水管補修負担金、利息など	34,604	20,833	60.2	3.5	△ 13,771
合計		622,516	599,599	96.3	100.0	△ 22,917

### ☆ 収益的支出 ☆

(単位：千円・%)

項目	内容	平成27年度 予算	平成28年度 予算	前年度比	構成比	比較増減比
営業費	配水場や浄水場の維持管理費用、水道料金の賦課徴収など	183,241	165,660	90.4	28.9	△ 17,581
職員給与費	職員の給料、手当など	92,854	106,608	114.8	18.5	13,754
減価償却費	建物や機械などの減価償却	180,849	186,964	103.4	32.5	6,115
営業外費用	企業債（借金）の利息など	88,398	97,494	110.3	17.0	9,096
特別損失	災害復旧のための復旧費用など	5,000	5,000	100.0	0.9	0
その他費用	一般会計への負担金など	11,898	12,429	104.5	2.2	531
合計		562,240	574,155	102.1	100.0	11,915

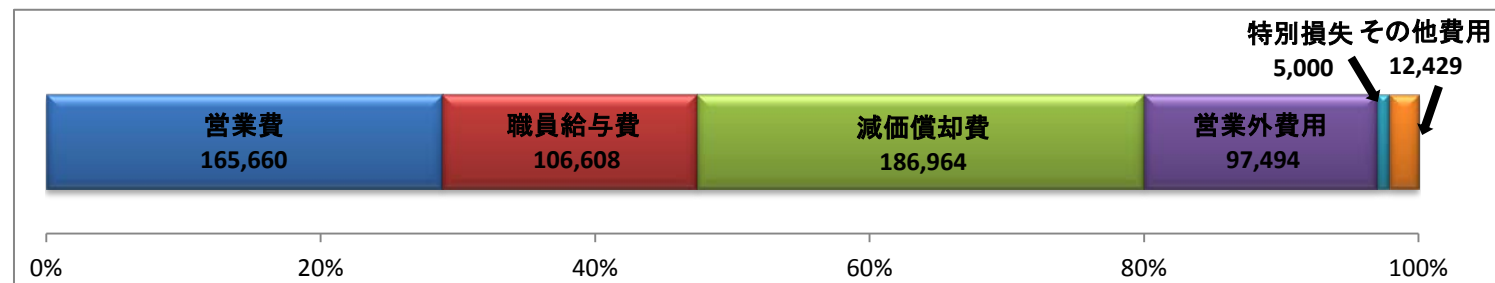
収益的収入は人口減少等により給水収益が減少しております。また、その他収益が大きく減少しているのは、前年度にありました消費税還付金がないためです。

収益的支出については給料削減終了に伴い職員給与費が増加しております。また、営業費が減少しているのは、主に水道メーターの取替工事の減によるものです。

### 収益的収入



### 収益的支出



## 資本的収支の状況

### ☆ 資本的収入 ☆

(単位：千円・%)

項目	内容	平成27年度 予算	平成28年度 予算	前年度比	構成比	比較増減比
企業債	国などからの借金	124,700	157,200	126.1	92.1	32,500
他会計出資金	一般会計からの出資金(繰入金)	17,110	11,938	69.8	7.0	△5,172
他会計負担金	消火栓などの新設補償負担金	1,452	1,500	103.3	0.9	48
国庫補助金	国からの補助金	5,333	0	皆減	0.0	△5,333
工事負担金	工事に対する負担金	10	29	290.0	0.0	19
合計		148,605	170,667	114.8	100.0	22,062

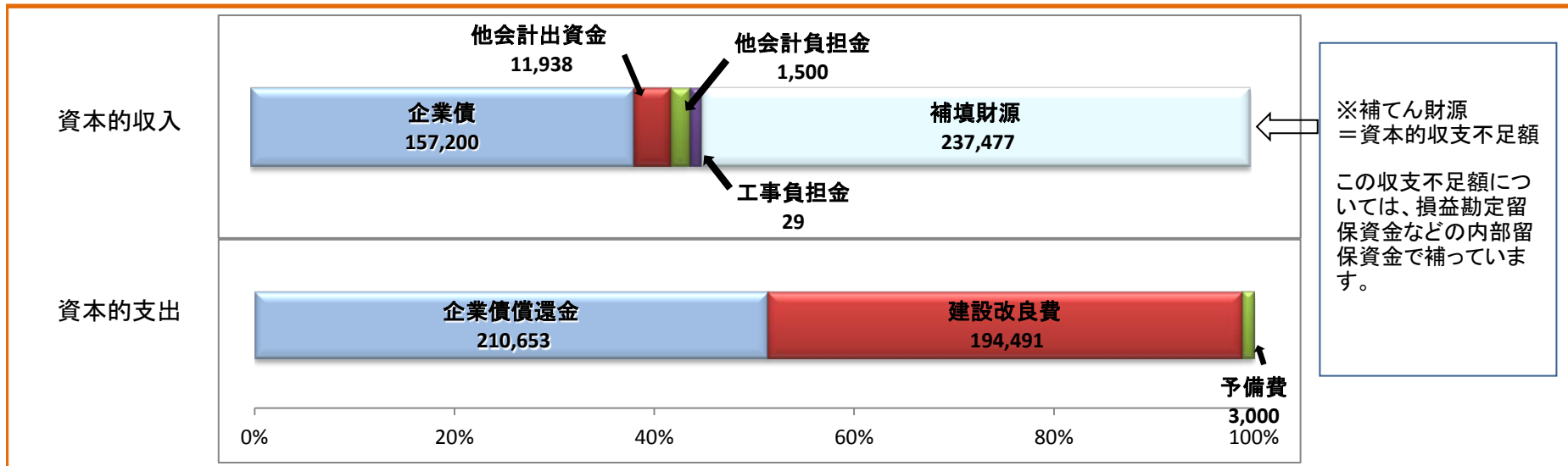
### ☆ 資本的支出 ☆

(単位：千円・%)

項目	内容	平成27年度 予算	平成28年度 予算	前年度比	構成比	比較増減比
建設改良費	施設の整備費、資産の購入費など	186,454	194,491	104.3	47.7	8,037
企業債償還金	企業債(借金)の元金返済	197,497	210,653	106.7	51.6	13,156
予備費	予備費	3,000	3,000	100.0	0.7	0
合計		386,951	408,144	105.5	100.0	21,193

資本的収入は建設改良事業の増加に伴い企業債が増加しております。

資本的支出は建設改良費、企業債償還金ともに増加しておりますが、これは水道施設の老朽化に伴い、施設の改良・維持費が増えてきているためです。



## 企業債（借金）残高及び元利償還（返済）の状況

企業債とは、水道水を住民に安全に供給するための、配水管や施設の整備などの事業に充てる資金で、事業を行うにあたり借り入れる地方債（借金）のことです。

平成19年度から平成20年度と平成24年度に償還額が増加していますが、借換えによるもので、借換えの効果で利子は減少しています。

また、残高は減少傾向にあります。平成21年度から着手し、平成27年度に完了した沖見配水場の施設整備の企業債、平成27年度より着手している幌糠地区送水管整備事業の企業債及び、今後老朽化した施設の改良・維持のための企業債の借入額が増加することから企業債残高も増える見込みです。

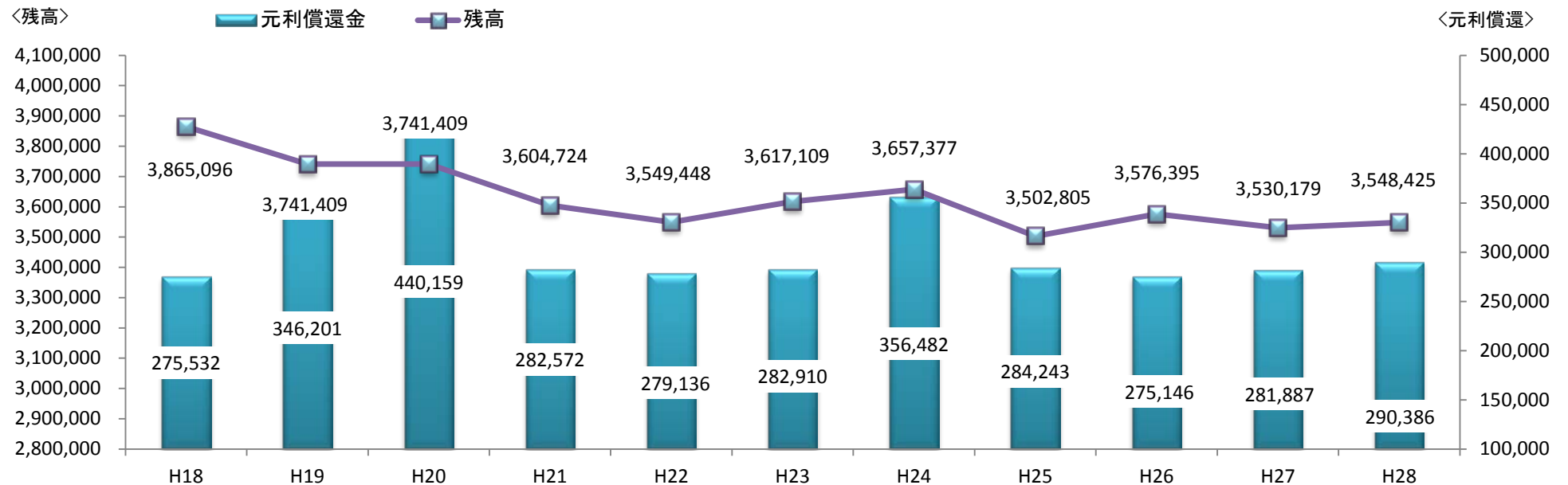
### ☆ 企業債償還金及び残高の推移 ☆

（単位：千円）

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
元 金	145,022	221,087	324,285	179,577	178,839	183,032	258,666	192,472	188,610	197,497	210,653
利 子	130,510	125,114	115,874	102,995	100,297	99,878	97,816	91,771	86,536	84,390	79,733
元 利 償 還 金	275,532	346,201	440,159	282,572	279,136	282,910	356,482	284,243	275,146	281,887	290,386
残 高	3,865,096	3,741,409	3,741,409	3,604,724	3,549,448	3,617,109	3,657,377	3,502,805	3,576,395	3,530,179	3,548,425

### 企業債償還金と残高の推移

（単位：千円）



## 予定貸借対照表 ～バランシート～（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

貸借対照表とは、一定時点における会計の財政状況を示す一覧表のことで、「資産」「負債」「資本」を対照表示することによって、会計の財政状況を明らかにする財務諸表です。  
 資産合計と、負債資本合計が必ず一致し、表の左右のバランスがとれるのでバランシートとも呼ばれています。

### ☆ 資産の部 ☆

区 分	金 額
1 固定資産	
(1) 有形固定資産	
イ 土地	25,388
ロ 建物	126,140
ハ 構築物	4,396,927
ニ 機械及び装置	256,106
ホ 車両運搬具	443
ヘ 工具、器具及び備品	3,261
ト 建設仮勘定	78,058
有形固定資産合計	4,886,323
(2) 無形固定資産	
イ ダム使用权	528,605
ロ 電話加入権	287
ハ ソフトウェア	15,376
ニ 建設仮勘定	45,250
無形固定資産合計	589,518
<b>固定資産合計</b>	<b>5,475,841</b>
2 流動資産	
(1) 現金預金	312,456
(2) 未収金	53,229
(3) 貸倒引当金	△ 16,864
(4) 貯蔵品	1,050
(5) その他流動資産	0
<b>流動資産合計</b>	<b>349,871</b>

（単位：千円）

### ☆ 負債の部 ☆

区 分	金 額
3 固定負債	
(1) 企業債	3,225,507
(2) 引当金	96,298
<b>固定負債合計</b>	<b>3,321,805</b>
4 流動負債	
(1) 企業債	226,620
(2) 未払金	42,287
(3) 賞与引当金	6,357
(4) 法定福利費引当金	1,221
(5) その他流動負債	37,212
<b>流動負債合計</b>	<b>313,697</b>
5 繰延収益	
(1) 長期前受金	638,635
(2) 収益化累計額	△ 68,748
<b>繰延収益合計</b>	<b>569,887</b>
<b>負債合計</b>	<b>4,205,389</b>

### ☆ 資本の部 ☆

区 分	金 額
6 資本金	
(1) 自己資本金	699,743
(2) 借入資本金	0
<b>資本金合計</b>	<b>699,743</b>
7 剰余金	
(1) 資本剰余金	99,644
(2) 利益剰余金	820,936
<b>剰余金合計</b>	<b>920,580</b>
<b>資本合計</b>	<b>1,620,323</b>

**資産合計**

**5,825,712**

**負債資本合計**

**5,825,712**